



翠清会梶川病院

翠清会ニュース

日本医療機能
評価機構認定施設医療法人
翠清会2020
春号
No.222号

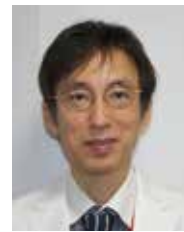
職員撮影 風景／縮景園夜桜

今号の内容

- 院長就任のご挨拶
- 神経内視鏡について
- フレイル(frail) ～知っておきたい予防と対策～
- 新入職員を迎えました
- 退任の挨拶
- 新任医師紹介
- 優秀賞受賞
- 学術活動 1月～3月

当院ではWiFi無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。

院長就任のご挨拶



院長 溝上達也

2020年4月から翠清会梶川病院 院長に就任させていただきました。これまで理事長・院長を兼任されていた若林伸一先生は、理事長職に専念され引き続き病院を牽引されることとなります。当院は今年、梶川 博先生が脳神経疾患専門病院として1980年に開設されてから40年、若林伸一先生が広島にいられてから20年となります。この節目となる年の新たな体制に関わることができる喜びを感じています。私は、1992年広島大学を卒業し、2019年9月翠清会梶川病院に就職するまでの27年間で、県立広島病院、島根県立中央病院、広島市立安佐市民病院など症例数の多い病院で長く勤務でき、大変貴重な経験を積むことができました。これは広島大学脳神経外科 名誉教授 栗栖 薫先生のご高配によるものであり厚く御礼申し上げます。また、元県立広島病院長の木矢克造先生に19年間と長くご指導していただいたことは幸運であり感謝の思いしかありません。

これから高齢化社会はますます顕著になり、医療を取り巻く環境や体制の変換も余儀なくされています。2025年にむけての地域医療構想は具体的となり、病床機能の再編も必要となります。脳神経専門病院を掲げる翠清会梶川病院は最先端機能を持つ救急治療、及び回復期リハビリ治療を担う役目があり、高度急性期病床と回復期病床を主体とした病院を目指すこととなります。目まぐるしく変化する医療ですが、「Patient First」で考え診療することはいつの時代も普遍です。この基本理念を念頭におき、患者さん、職員の皆様に信頼され、先生方から安心してご紹介していただけるように、微力ですが精進していく所存です。ご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

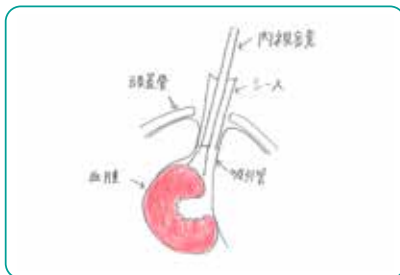
神経内視鏡について

脳神経外科副部長 岡田朋章

細長い形状で光源から出た光を用いて体内を観察する機器のことを内視鏡と言います。一般的に内視鏡と言えば、胃カメラや大腸カメラがおなじみです。脳神経外科の領域で使用する内視鏡は神経内視鏡と呼んでいます。神経内視鏡には大きく分けて 2 通りの使い方があります。一つは内視鏡単独で行う『狭義の内視鏡手術』です。もう一つは顕微鏡手術の際に内視鏡を併用する『内視鏡支援手術』です。前者では脳室内や血腫腔内、硬膜下腔内に内視鏡を挿入して、内部を観察しながら手術を行います。また、後者では狭い術野の中で顕微鏡では見えない部分を内視鏡で観察し、術野に死角が生じないようにすることができます。中でも下垂体腫瘍の経鼻的手術は、もともと顕微鏡を用いて行っていましたが、内視鏡を併用するようになり、現在では内視鏡単独で行うことも増えてきました。

神経内視鏡は大きく分けて 2 種類に分けられます。一つは硬性鏡と呼ばれる金属の鏡筒をもつもので、もう一つは軟性鏡といい内視鏡本体が樹脂で出来ているため可動性があります。胃カメラや大腸カメラと同じ構造です。

当院では、2019 年に新しい神経内視鏡（硬性鏡）を導入し、脳動脈瘤や脳出血、脳腫瘍の手術に使用しています。脳動脈瘤や脳腫瘍の手術では、主に顕微鏡手術の支援として使用しています。脳出血の内視鏡手術では、径 3～4cm 大の小さな開頭をして、硬膜切開の後に脳の表面からシースと呼ばれる細い管を挿入し、血腫腔内に留置します。この管の中を通して進めた



内視鏡で観察しながら血腫を吸引除去します。出血している小血管が確認出来たら凝固止血します。滲むような出血の場合には生理食塩水で洗浄していると止血されます。いわゆる開頭血腫除去術と比べて、傷が小さく、手術時間も短くて済みます。結果として局所麻酔でも手術が可能なのもあります。その他にも脳室内腫瘍や水頭症の治療に神経内視鏡を利用することがあります。

医療機器の進歩は目覚ましいものがあります。日々新たな医療機器が開発され、応用される中、私たちは常に情報をアップデートし、より安全で低侵襲かつ効果のある治療、手術を患者さんに提供したいと考えています。

フレイル(frail) ～知っておきたい予防と対策～

介護老人保健施設ひばり 施設長 梶川 咸子

わが国の高齢化率(65歳以上の高齢者比率)は、2015年には26.7%(4人に1人)となり、今後も増加し続けて2025年30.3%、2035年33.4%(3人に1人)となると推計されています。

人生100年時代といわれる今日、如何にして健康寿命を延ばすか、最後まで健康に生きていくためには、3項目の健康、すなわち、1) 身体的健康：環境が変わっても「身体的恒常性」を保つ力、2) 精神・心理的健康：困難に直面したときにそれを理解、対処して意味を見出せるという力、3) 社会的健康：自立して、生活をマネジメントする力および仕事を含めて社会活動に参加できる力が大切です。

この3項目について問題のある状態を、1) 身体的フレイル、2) 精神・心理的フレイル、3) 社会的フレイルといいます(図1)。これらは加齢に伴って互いに重なり合って進行しがちで、誰の身の上にもかかってきて誰もが歩いていく“final common pathway”なのです。

フレイルは、健康と要介護の中間帯と定義され、高齢者が要介護になる一歩手前の段階ととらえなければならないとされています(図2)。フレイルの予防と対策が研究されており、フレイルは予防可能であり、また、フレイルの段階であれば健康回復・改善もできる状態といわれています。一方、一旦要支援・要介護になってしまっただけではフレイルの段階まで回復することは困難になってきます。

厚生労働省は現行の特定健診で実施されていた「標準的な質問票」を、75歳以上の後期高齢者では「後期高齢者の質問票」に改め、2020年4月から「後期高齢者のフレイル健診」を実施することになりました。質問項目は健康状態、心の健康状態、食習慣、口腔機能、体重変化、運動・転倒、認知機能、喫煙、社会参加、ソーシャルサポート、など15項目です。詳しいことは「フレイル健診」でネット検索してみましょう。



図1 健康寿命を短縮するフレイルの3要因

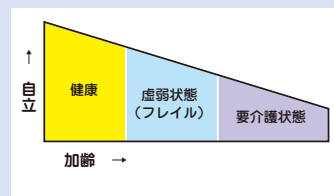


図2 高齢者の健康(フレイルなし)フレイル、身体機能障害(要介護)の位置づけ

フレイル健診(75歳以上) 質問票の15質問

- No.1 あなたの現在の健康状態はいかがですか
- No.2 毎日の生活に満足していますか
- No.3 1日3食きちんと食べていますか
- No.4 半年前に比べて固いもの(さきいかやたくあんなど)が食べにくくなりましたか?
- No.5 お茶や汁物などでむせることがありますか
- No.6 6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか
- No.7 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
- No.8 この1年間に転んだことがありますか
- No.9 ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか
- No.10 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか
- No.11 今日が何月何日か分からない時がありますか
- No.12 あなたはたばこを吸いますか
- No.13 週に1回以上は外出していますか
- No.14 ふだんから家族や友人と付き合いがありますか
- No.15 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか

新入職員を迎えました

令和2年4月1日に入社式を行い、医師4名、看護師11名、准看護師3名、診療放射線技師1名、介護福祉士3名、看護補助者1名、総務事務1名の計24名が入職いたしました。

皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



退任の挨拶

6年間翠清会梶川病院でお世話になりました。生まれ育った
広島で、医療を通じて恩返しさせていただく機会に恵ま
れたこと、大変感謝しております。多職種スタッフと力を合わ
せて、患者・家族の皆様の治療・サポートをして参りました。こ
れからも多くの方々の福音となるべく微力ながら努めていく
所存です。末筆ながら皆様のご多幸を祈念しております



脳神経内科医長
中森正博

本年3月末をもって退職いたします。それぞれの患者さんや
ご家族に寄り添う医療が提供できるよう、当院との出会いが
人生において良い分岐点となるよう、ワンチームで尽力した
つもりです。一方で、至らぬ点もございましたことをお詫びい
たします。頭部診療において広島を牽引する翠清会梶川病院
にて勤務できたことを幸せに思います。皆さまのご多幸を心
よりお祈りいたします。



脳神経内科医長
林 有紀

この度、3月末日を持ちまして翠清会梶川病院を退職するこ
ととなりました。1年間という短い間でしたが、脳卒中診療を
中心に様々な経験をさせていただきました。今後も当院での
経験を糧に、診療に携わっていきたく思います。ありがとう
ございました。



脳神経内科医長
上村鉄兵

この度2月末をもちまして退職することとなりました。脳神経
外科医として約半年勤務させていただきました。何かと至ら
ぬ私でしたが、脳卒中や頭部外傷をはじめとした多くの患者
さんと関わらせていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。
上級医の先生方やメディカルの方にご指導いた
だき、多くのことを勉強させていただきました。これからの皆
様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



脳神経外科医長
武井孝磨

新任医師紹介

2020年4月から脳神経内科で勤務いたします原直之と申し
ます。しばらく広島大学で研究中心の生活を送ってありまし
たが、翠清会梶川病院でまた脳卒中を中心とした臨床の仕事に
携われるということで、気持ちを新たに皆様の力になれるよう
に頑張っていこうと思います。よろしくお祈りいたします。



脳神経内科医長
原 直之

4月より赴任いたしました脳神経内科の竹下潤と申します。
脳卒中の中核を担う翠清会梶川病院で働けることを大変うれ
しく思っております。皆様のお力になれるように精一杯頑張
りたいと思います。何卒よろしくお祈り申し上げます。



脳神経内科
竹下 潤

4月より脳神経内科医として勤務させていただきます田坂沙
季と申します。縁あって広島の脳神経疾患医療の中核である
翠清会梶川病院で働かせていただけることを嬉しく思いま
す。脳神経内科医として少しでも広島の医療に貢献出来るよ
う精進し邁進していきますので、どうぞよろしくお祈り申し上
げます。



脳神経内科
田坂沙季

4月から脳神経外科医としてお世話になる渡辺俊樹と申し
ます。東京出身で関東から離れたことがなかったのですが、広島
での生活は瀬戸内の気候や歴史のある街並みが個人的に楽
しみであります。未熟者ですが、患者さんを第一に考えた診療
で広島の医療に貢献できるよう日々精進して参ります。よろし
くお祈り申し上げます。



脳神経外科
渡辺俊樹

第45回広島県病院学会 優秀賞 受賞 看護部 桑原未優

学術活動 1月～3月

2/1
第5回脳神経外科道 瀬戸内脳神経外科ビデオカンファレンス
Anterior transcallosal-interforniceal approach で摘出した第三脳室腫瘍の一例
脳神経外科医長 大仲佳祐

2/5
第46回症例から学ぶ脳神経内科 in 広島
脳血管造影検査後に痙攣発作を来した一例
脳神経内科医長 上村鉄兵

2/16
第45回広島県病院学会
脳卒中急性期における誤嚥スクリーニングとしての咳テストの有用性
看護部 桑原未優

自動車シミュレーターと Trail Making Test Part-B の有用性
リハビリ部 松岡瑞樹

2/17
Knack&Pitfall Club in Neurology
脳神経内科部長 今村栄次 座長

2/21
第2回再開通療法勉強会
発症時間不明のAIS症例
脳神経内科部長 今村栄次

医療法人 翠清会 翠清会梶川病院

TEL : 082-249-6411 FAX : 082-244-7190
〒730-0053 広島市中区東千田町1丁目1-23
<http://www.suiseikai.jp>

《病院理念》

Patient First 「患者さん第一」
ファースト・オピニオン(First Opinion)を提示でき、
セカンド・オピニオン(Second Opinion)を求められる病院に！

《基本方針》

- 1 脳の専門病院として24時間、常に質の高い医療を提供します。
- 2 患者さんの権利を尊重します。
- 3 患者さんの安全と安心を確保し、医療事故の予防と対策に努めます。
- 4 急性期から慢性期、在宅までの地域の関連機関と連携を強化します。
- 5 翠清会の職員である誇りを持ち、プロとしての実力を高め、チーム医療に貢献します。

